



# 2022

元日付毎日新聞朝刊別刷り

「ジェンダー平等社会へ」  
(仮題)

# 企画概要(案)

## 企画趣旨

「ともに生きる。ともに輝く」共生社会を掲げる毎日新聞社は3月の国際女性デーを前に、性別にとらわれず、女性も男性も今よりもっと暮らしやすい社会の実現を目指す別刷り特集を発行します。

## 概要

自分らしさとは。  
世界を知り、さまざまな生き方を見てきた  
女性らが今の日本に思うこと。

世界経済フォーラムが今年3月に発表した各国における男女格差を図るジェンダーギャップ指数によれば、日本は156か国中120位(昨年153か国中121位)。これは先進国の中でも最低レベル。

アジア諸国の中で韓国、中国、ASEAN諸国よりも低い数字となっています。

日本人の男女比は男性49%、女性51%。  
国会議員の女性割合(140位)、管理職の男女差(139位)、収入格差(101位)等々、政治・経済分野において低い数字となっています。

これらの社会的・経済的構造をデータで紹介しつつ、家事や子育て、身近に潜むジェンダーギャップを有識者や著名人にインタビューし、読者にとってわかりやすい紙面を展開します。

## 毎日新聞ではジェンダー平等に向けて、さまざまな視点からの問題提起を続けています。

毎日新聞デジタル  
特集「Jender × JAPAN」

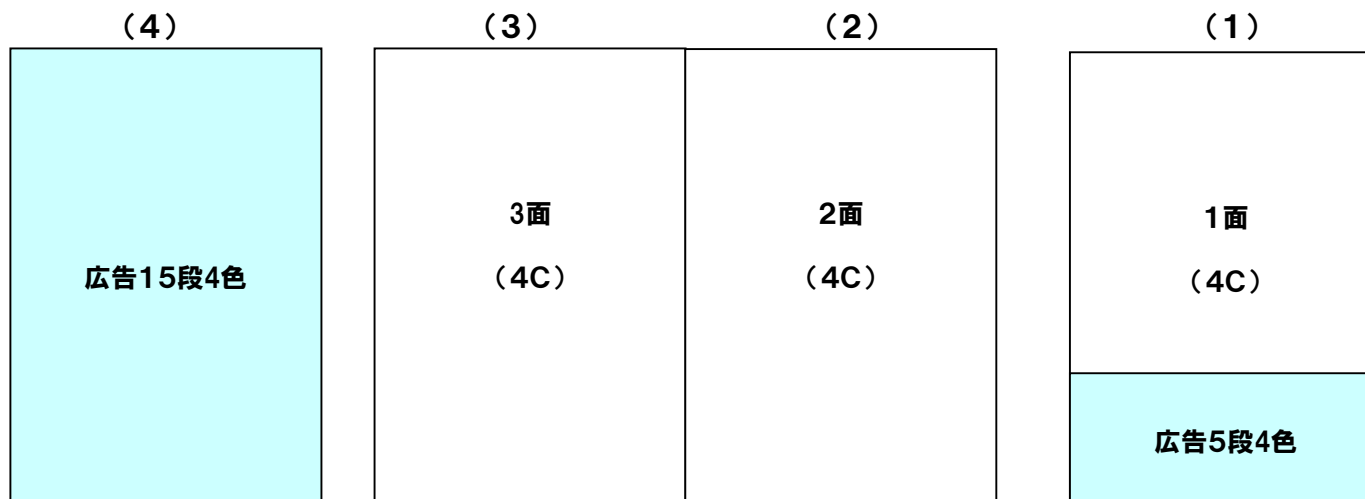
2021年3月8日 社説



毎日新聞本紙およびデジタル特集  
「声をつないで～3.8国際女性デー」



# 紙面構成・掲載概要(案)



※. 載内容は変更の場合があります。

- ◇掲載日 2022年1月1日(土)発行 別刷り特集
- ◇発行エリア 毎日新聞 全国版朝刊
- ◇ページ数 ブランケット判 4ページ (フルカラー)
- ◇構成 1面:「ジェンダーギャップ、日本の現状と課題」  
UN Women日本事務所長 石川雅恵氏インタビュー(予定)  
2面～3面:①「身近なジェンダーギャップ」  
タレント・りゅうちえる × ペこ対談(予定)  
②ジェンダーギャップのデータ紹介  
(国会議員・閣僚、管理職などの女性割合、男女の賃金格差、男性育休取得率など)
- ◇広告掲載料 貴社ご契約料金を適用させていただきます
- ◇原稿締切 カラー、モノクロとも 2021年12月17日(金)

※通常の新聞印刷の工程と異なるため、締切が早くなっております。

【本別刷りのお問い合わせ】  
毎日新聞東京本社  
営業総本部  
担当: 恩田  
TEL 03-3212-0850  
FAX 03-3211-3598